

道頓堀商店会報

4月号(2015 3.28 No.114)

道頓堀商店会事務局
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764
発行人：今井 徹 編集：広報委員会(吉田)

道頓堀のビル健全化に向けて



▲3月12日、doppa!!(ドッパ)で開かれたビル健全化に向けた集会。

道頓堀商店会では、違法な客引き行為を排除する警備を引き続き行うと同時に、今後は商店街に面するビルに、客引きも含めた悪質な業者やテナントを入居させない、いわば「元から絶対」のための「道頓堀商店会ビル健全化委員会」(仮称)を立ち上げるための集会を3月12日に開きました。大阪府警により風俗営業とビル管理の問題について、当商店会役員からビルの健全化に向けた「規約」についての説明をしましたが、15名の参加者は熱心に聞き入っていました。

現在13名のビルオーナーの会員から「規約」に対する同意書をいただいておりますが、さらに賛同者を増やし、また「委員会」設立に向けて準備を進めたいと考えています。

引き続き、ビルオーナー部会が中心になって、委員会を推進していきま

すので、ビルオーナー、また会員の皆さんの協力をお願いします。

左記に、道頓堀商店会のビル健全化に向けた「規約」(一部割愛)を紹介するので、ご読ください。

1. いわゆるソープランド、... いわゆるファッションヘルス及び... 出会い系喫茶... を営む者又は、させる者に貸し出すこと。
2. 賭博、違法な薬物の売買... に使用し又は、させる者に貸し出すこと。
3. 客引き行為、勧誘行為、迷惑ビラ等の配布行為、その他

4. 上記に掲げるもののほか、公序良俗に反し、又は、商店会の環境を悪化させるおそれのある者に貸し出すこと。
5. 1~4の条項について、貸主・借主間で取り交わす契約書に記入すること。
6. 入居テナントが、賃貸契約の使用目的に合致した業務内容になっていないか、随時、確認を行うこと。
7. 1又は2に掲げる営業等を行っていることが判明した場合は、契約を解除すること。
8. 3又は4に掲げる行為等を行っていることが判明した場合は、改善に向けた指導又は、契約解除

9. 1又は2に掲げる営業等に該当する場合は、テナント明け渡しの際には、違法営業等が行われないよう、室内のスケルトン化を図ること。
 10. 現在、他者にビル、部屋等を貸していない場合でも、上記の目的を達成するため、会員同士の連携をもって努力すること。
- 以上。

道頓堀商店会ホームページ、好評です！

当商店会ホームページ(HP)は、スマホにも対応して、3月20日に完全オープンしました。

アクセス数について、3月2日~25日で、ページビュー数が82467件、ユーザー数が13108件と、24日間で、旧HPのアクセス数をオーバーしました。今後、「ホットニュース」コーナーで新着情報をその都度発信したり、FacebookやTwitterも稼働させ、お客様のご意見や耳寄りな情報をお聞きしたり、魅力あるHPをめざします。

▲トップページ。道頓堀紹介動画も4カ国語対応しています。



▲道頓堀商店会マップ。店舗名をクリックすると詳細情報が表示されます。

4月の興行ご案内

道頓堀ZAZA
笑い飯・西田ソロイン
「西田カタログ春号」
4日(土)開演 19時30分
ゲストあり
前売18000円 当日20000円
吉田食堂 PRESENTS
いちのすけの風 其の七
10日(金)開演 19時
春風亭一之輔 月亭八斗
前売30000円 当日35000円

道頓堀角座 KADDOZA

角座広場
辰公演・ナイト公演
毎週月曜日「落語の日」
(変更する場合があります)
休み
法善寺寄席
大阪松竹座
スーパースペシャル かぐや姫
5日(日)~27日(月)

大阪松竹座【4月公演】



道頓堀の戦後70年 ①

昭和20年(1945)3月13日の空襲で、道頓堀は焼け野原になりましたが、大阪松竹座と戎橋角地にあった三笠ビル(3階建)現T S U T A Y A だけは崩壊をまぬがれました。



▲昭和20年3月の大空襲により焼け野原となった千日前と道頓堀川帯。

廃墟から立ち上がる — まずは、飲食店から —

戦時中、三笠ビルは松下電気産業(現パナソニック)の軍需工場で、電球を作っていました。戦後は、笹川良三の持ち物となり、進駐軍専用のキャバレーに転用され、その後、歌謡史に残る伝説の音楽喫茶「ナンパ番」となり、和田アキ子、沢田研二を輩出します。

戦後、暫くの間、道頓堀は夜の8時以降は人影もまばらで、怖くて歩けないという状況でした。また、大阪駅から御堂筋を通して高島屋が見えたといわれます。

道頓堀では、先ず、現ドウトンビルの田中清一郎氏(故人)が真っ先にバラックに毛の生えた平屋建てを



▲空襲直後の道頓堀通り。

建設、飲食店を開業しました。食べる物のない時代、軽食の店は大人気でした。続いて、隣の元禄12年創業の芝居茶屋「大吉」もうどん屋として開店しました。

昭和22年には、太左衛門橋南詰にあったところの「大幸」も食堂を開業。23年に入ると、ど

ん店の「道頓堀今井」が、同年「はり重」も開店します。道頓堀の復興は飲食店から始まったとも言えます。次々と飲食店が開店していく中、キャバレーも復活しました。飲食店で得た資金を元手に、道頓堀の「グランドパレス」跡に「赤玉会館」の後の

「ドミノ」が開場しました。昭和21年のことだ。

大阪を復興していくこととする人々の大きなエネルギーが噴出していきます。こんな時代だからこそ、キャバレーは毎夜非常な賑わいを呈しました。(吉田利照)



▲道頓堀川から見たキャバレー「ドミノ」。

2015年 4月の行事予定

- 8(水) 平成26年度 第2回オーナー部会 (京都日帰り研修旅行) 9:00~
- 9(木) いごご三三三実行委員会 商店会事務局 14:00~
- 10(金) 四商店会合同パトロール 戎橋交番前 18:00~
- 14(火) 交番連絡協議会 10:30~ 近畿産業界信用組合難波支店5階
- 16(木) 総務財務委員会 10:00~ 商店会事務局
- 20(月) ミナミ飲食街環境浄化推進協議会連絡会議 14:00~ 南署
- 夜間合同パトロール 20:00~ 難波高島屋グリーン前広場
- 21(火) とんぼりパーウォーク 賑わい創出連絡会 10:00~ 商店会事務局